



特定非営利活動法人

## たすけ愛ふくろう清田

(北海道札幌市) <http://fukuro3.net>

誰かの「困った」と誰かの「助けたい気持ち」をつなぎ、日々の暮らしの中で援助が必要な高齢者・障害者やその家族、その他手助けを必要とする方々へ、会員相互扶助により日常生活支援を組織的に行う目的で2011年に設立された。同じ地域に住む人同士が「チョットだけ・時々・今だけ・・・」「住み慣れた地域で最期まで」を、できる範囲で助け合っている。

### 助成テーマ

## コロナ禍で孤立を深める高齢者に、オンライン交流のきっかけづくり

### [事業内容]

新型コロナウイルス感染拡大の中、地域交流サロンや老人クラブなどの休止が相次いだ。地域の高齢者はデジタル機器が苦手で、オンライン交流などにも疎く、さらに孤立を深めている。

オンライン交流への第一歩を踏み出すためのきっかけづくりのため、地域の新聞折り込み、町内会への回覧板などを通して「デジタルシニアライフをめざそう講座」を企画し、高齢者に呼び掛けた。さらに、地域交流サロンでの「スマホ教え合い」、自宅にデジタル機器があっても利用に困難をおぼえている高齢者には、訪問サポートも行い、オンラインへの意欲向上や、個々の要望・ニーズにあわせた支援を行った。



### [事業の実績]

- デジタルシニアライフをめざそう講座：47人
- スマホ教え合い：64人
- 訪問サポート：33人
- 事業に関わったスタッフ・ボランティア：10人
- プログラム実施回数：20回
- 作成物の配布枚数：62,000枚



### [事業の成果]

悩みの多くは、表示されるネット用語の意味がわからない、操作のつまづき、怪しいメールの判断などであった。気軽に相談できる若い家族がいない、もしいても、同じことを何回も聞いて疎んじられるなど、安心して質問できる場へのニーズが高いことに気づいた。

マイナポイント獲得など高レベルのチャレンジをしたときに、店舗では、ちょっとした操作方法を尋ねても親身な対応は期待できなかつたり、必要以上のサービス契約を勧められたりする現実もあり、高齢者が取り残されていることを実感した。

### [今後の展望・課題]

今回の活動を実施してみて、スマホやパソコン活用に疑問や不安を持たれている方が多数いることに改めて気づいた。過去12年間の助け合い活動では、身体的な困りごとへの対応が多かったが、デジタル時代の新たな困りごととして、これからも継続拡大していくべき活動と考えている。困りごとはひとり一人異なるので、マンツーマンの支援が求められており、学生協力会員や、北海道大学のボランティア団体など、デジタル世代のボランティア人材とのつながりを深めていきたい。